

# まち空間と融合した河川空間利用の実現プロセスに 関する研究

Research on integrated usage of the room for the river with urban area

(研究期間 令和4年度～令和6年度)

社会資本マネジメント研究センター  
緑化生態研究室  
Research Center for Infrastructure Management  
Landscape and Ecology Division

室 長 松本 浩  
Head MATSUMOTO Hiroshi  
研 究 官 飛田 ちづる  
Researcher TOBITA Chizuru

It is basically studied to implementation process for integration river space and urban space. Both domestic and overseas case studies were gathered. As compared these case studies, overseas especially Europe is advanced such as totally management including not only water front space also urban area. Next research issues are that cost and connection urban policy etc.

## 〔研究目的及び経緯〕

地域における代表的な景観を形成するとともに、歴史・文化と結びつき観光基盤としての機能も持つ河川空間について、よりまち空間と融合した良好な空間形成のため、既存の良好な事例から、実現プロセスに着目し、空間整備、整備後の活用方法、事業実施上の工夫などを中心に分析および整理する。

今年度は、文献及びインターネット等から国内外の事例収集と類型化を行い事例から特徴をまとめた。

国内の事例は、かわまちづくり 235、河川空間のオープン化事例 108、水の郷百選 107、疎水百選 110、土木および建築系学会賞受賞事例 14、重要文化的景観 8、河川伝統技術データベース 6、重要伝統的建造物群保存地区 8、その他 2 を対象とした。次に、事例選定の観点として①施設の整備（仮設を含む）および催事を含むこと、②自治体や民間事業者、非営利団体等多様な主体の連携と協力、③利用者の増加、④周辺のまち空間と融合した利用等、⑤事業の継続性のための財源確保の仕組みを有すること、⑥インフラ整備や公共空間に関する表彰制度の受賞事例を設定し、各事例における該当有無を調べ、今後の事例調査を念頭におき、事例を 43 選択した。その上で、まち空間を①商業地（観光地を含む）、②住宅地、③その他に分類し、水辺空間の利用目的を①商業地、②教育又は運動、③舟運（河川利用）、④催事、⑤その他（伝統的利用）に分類し、まち空間と水辺空間の組合せから事例を分類した。

海外の事例は、河川に加えて運河や港湾の水辺空間をまち空間と一体的に整備、活用している事例が見られるため、欧州等のデザイン賞を受賞した事例を、河川に限らず港湾や運河も含めて収集し、国内事例と同様に選定、分類した。

また、各事例の特徴から、まち空間と融合した河川空間利用促進のための調査課題（視点）を挙げた。

## 〔研究内容〕

### 1. 国内事例の調査と類型化

かわまちづくり、ミズベリング、土木、建築系学会の受賞歴等を踏まえ、可能な限り既存事例を網羅した。その上で〔研究目的及び経緯〕に記載した事例選定の観点①から⑥の該当有無を整理した。次に、該当項目の多い事例の中から、今後の事例調査を念頭に置き、水辺空間の利用や事業主体といった基本情報と、資金調達方法、事業継続性の担保の方法、その他、特徴的な手法や内容の見られる点を加味し、43 事例を選定した。さらに、周辺のまち空間の特徴と河川空間利用の主目的の組合せから選択した事例を分類した。

### 2. 海外の事例調査と類型化

初めに、景観関連の受賞歴のある事例を収集した。また、水辺空間利用の観点から河川に限らず港湾と運河を加えた。さらに、良好な空間は継承されているとの観点から、伝統的な水辺空間の利用事例も調査した。次に、国内事例と同様に事例選定の観点①から⑥の該当を整理した上で、特徴的な手法や内容の見られる 15 事例を選定した。その上で、周辺のまち空間の特徴と水辺空間利用の主目的で選択した事例を分類した。

### 3. 事例から導き出せる調査課題

国内事例全体から考えられる課題、海外事例の特徴、国内への応用を検討する点に関し仮説を立てた。

## 〔研究成果〕

### 1. 国内事例の分類と分析

#### (1) 国内事例の選定

本調査の選択の観点に多く該当し、かつ特徴のある事例を表-1 のとおり 43 選定した。

表-1 国内の優良事例

| 番号 | 名称              | 番号 | 名称                     | 番号 | 名称              |
|----|-----------------|----|------------------------|----|-----------------|
| 1  | 閑上地区かわまちづくり     | 16 | 白川熊本市街部かわまちづくり         | 30 | 水門川(岐阜県大垣市)     |
| 2  | とんぼりリバーウォーク     | 17 | 竹芝地区(WATERS TAKESHIBA) | 31 | 郡上八幡(岐阜県郡上市)    |
| 3  | 北十間川かわまちづくり     | 18 | かのがわ風のテラス              | 32 | 源兵衛川(静岡県三島市)    |
| 4  | 五ヶ瀬川かわまちづくり     | 19 | 乙川リバーフロントQURUWA戦略地区    | 33 | 長良川川原町・鵜飼屋地区    |
| 5  | 信濃川やすらぎ堤かわまちづくり | 20 | 名古屋 堀川納屋橋地区            | 34 | 八幡堀(滋賀県近江八幡市)   |
| 6  | 美濃加茂地区かわまちづくり   | 21 | 水都大阪 北浜テラス             | 35 | 醒井宿(滋賀県米原市)     |
| 7  | 内町・新町地区かわまちづくり  | 22 | 尻無川河川広場(タグボート大正)       | 36 | 渡月橋周辺可動式堤防(京都市) |
| 8  | 長井地区かわまちづくり     | 23 | 長門湯本温泉街川床テラス           | 37 | 揖保川畳堤(兵庫県たつの市)  |
| 9  | 京橋川             | 24 | 北彩都あさひかわ               | 38 | 堀川(島根県松江市)      |
| 10 | 元安川             | 25 | 横浜市役所大岡川水際プロムナード       | 39 | 藍場川(山口県萩市)      |
| 11 | 盛岡地区かわまちづくり     | 26 | 六郷湧水群(秋田県美郷町)          | 40 | 千代川流し雛(鳥取県用瀬町)  |
| 12 | 石巻地区かわまちづくり     | 27 | 御殿堰(山形県山形市)            | 41 | 八朔の舟流し(山口県柳井市)  |
| 13 | ヒューリック両国リバーセンター | 28 | 雄川堰(群馬県甘楽町)            | 42 | 柳川の掘割(福岡県柳川市)   |
| 14 | 箕面市かわまちづくり      | 29 | 水の見えるまちづくり(福井県大野市)     | 43 | 島原水路(長崎県島原市)    |
| 15 | 北九州市かわまちづくり     |    |                        |    |                 |

表-2 海外の優良事例

| No. | 事業名称                 |    |
|-----|----------------------|----|
| 1   | ジーゲンの水辺・道路一体型かわまちづくり | 河川 |
| 2   | ミルテンベルクのかまちづくり       |    |
| 3   | デュッセルドルフのラインプロムナード   |    |
| 4   | リヨンのローヌ川の水辺再生        |    |
| 5   | パリのセーヌ川のプラーージュ       |    |
| 6   | ヘント・グライスレイのレイエ川      |    |
| 7   | オーフス川開渠化事業とプロムナード整備  |    |
| 8   | サンアントニオ川の再生・活用       |    |
| 9   | ロンドン・リージェント運河の歩道整備   | 運河 |
| 10  | ユトレヒトの運河再生           |    |
| 11  | 安昌古鎮                 | 港湾 |
| 12  | ハンブルク港の都市開発ハーフェンシティ  |    |
| 13  | マルセイユ旧港の再開発          |    |
| 14  | コペンハーゲン・ニューハウン       |    |
| 15  | ベルゲン港のブリッゲン          |    |

## (2) 選定した国内事例の類型化と事例の特徴

水辺の特性は、河川を4種類、伝統的な利用として掘割や流水、湧水も加えて全7種類とした。まち空間の特性から見ると、次の9点を特徴として挙げられる。①河川下流の事例は商業地が多くを占める、②河川中流では、他と比較し住宅地も多い、③その他は公園の事例である、④商業利用や催事は商業地で多く実施されている、⑤教育または運動利用は立地を問わない、⑥舟運は河川下流や掘割、堀川に多い。ただし、例外もある、⑦伝統的な利用は河川や疏水、湧水の事例で見られる、⑧湧水の事例では、湧水自体を活かして商品化している、⑨掘割、堀川では水路と関係する飲食店が多く見られる。

ただし、河川の中流、下流は暫定的な区分とし、今後精査する必要がある。

## 2. 海外事例の分類と分析

### (1) 海外事例の選定

国内事例と同様に本調査の選択の観点、及びまち空間と河川空間の整備や利用の融合した事例を、表-2のとおり15選定した。

### (2) 選定した海外事例の類型化と事例の特徴

水辺空間利用が商業の場合、利用目的は飲食や買い物が多数を占める。教育または運動の場合、利用目的は散策及び休息である。住宅地の場合、運河と港湾の事例で散策と休息が見られた。また、親水性を高める工夫が行われている事例の見られることも特徴である。公開情報のみからの情報収集と分類ではあるが、主に欧州を中心とした事例は、都市政策の中に水辺利用を含めたものといえる。

## 3. 事例から導き出せる調査課題

国内事例における調査課題は、全体の傾向から①河川構造への対応、②地域の暮らしや文化への対応、③都市の水利用に関する対応、④効果的な運営主体、運営手法が考えられる。

また、海外事例が有する特徴と国内事例の応用可能性について、次の4つを挙げた。①地域課題に対応した都市と水辺の融合空間の開発、②質を担保した整備を可能とする費用負担の考え方、③人中心の都市政策の実施、④まち空間にも治水機能を分担させる都市づくりの実践である。

### 〔成果の活用〕

本調査結果は、今後事例の詳細調査により具体的な事業実現過程を把握し、まち空間と融合した河川空間利用のための技術資料として取りまとめる予定である。